

<p>△産業宣教/金土日時代のやぐら 54 オバデヤのやぐら (I 列 18:1-15)</p>	<p>△RT と TCK 伝道学/三つの庭のモデル 54 隠れたレムナントのやぐら (I 列 18:1-15)</p>	<p>△核心 伝道, 宣教のやぐらを作った人々 (II 列 6:8-24)</p>
<p>私たちがバヌアツのような国を生かすには、オバデヤのやぐらを作らなければならない。</p> <p>□序論_最後の人生やぐらを作らなければならない。</p> <p>1. 神様の御座のやぐらが作られれば良い。</p> <p>2. 必ず 当然、必然、絶対 必ずすべきこと、当然すべきこと、必然的にすべきこと、未来を置いて絶対にすべきことを見つければ良い。</p> <p>3. 危機を選択した。</p> <p>4. 絶対不可能(みことば) 王にどのように勝つのか。絶対不可能だ。そこに挑戦した。私がヨンドに開拓教会で行ったが、できる条件が何もない。みことばを聞くこと以外には道がないことを分かった。そのように契約を握ったが、使徒の働きで道が見え始めた。</p> <p>5. Nobody, Nothing に挑戦しなければならない。私は神様と御座の力しかないということを見た。続けて祈って7・7・7の答えを受けた。</p> <p>□本論_今日 300% (専門性、現場性、未来性)</p> <p>1. アハブ王の臣下 職業 300% オバデヤは自分の職業に 300%の答えが来ていた。さらにカルメル山の戦闘の紹介をオバデヤがしたのに、切られなかった。</p> <p>2. エリヤの弟子 祈り 300% 「私が必ず今すべきことは何か」当然。「その現場に必ず必要なことは何か」必然。「これから必ず必要なことは何だろうか」絶対。このように質問するだけでも 300%が始まる。</p> <p>3. 預言者 100 人かくまう 伝道と宣教に対して 300%準備されたという意味だ。現場をのがしてはならない。現場があってこそ未来もあって、準備もある。現場を見ることができなければ、すべて見られないのだ。</p> <p>△パウロが霊的なことと根源、ネフィリムを癒やして会堂に入った。未来を見たのだ。</p> <p>□結論_ 300%を味わって祈るとき</p> <p>1. 今 Trinity が働かれる。暗闇が砕かれてしまう。御座の祝福が臨む。</p> <p>2. 3 集中できれば癒やされる。じっとしていても神様の答えがくる。3 セティング。答えがあらかじめくる。3 答え。</p> <p>3. この契約を握ってればやぐらが作られて、その旅程を進み、道しるべを残すようになる。</p> <p>4. 試練、葛藤、困難、危機が私に有益になる。</p> <p>5. 刻印-絶対答え みことばを握ったその日、そのみことばが刻印される瞬間、私の霊が生かされて、みな生かされる。今日は 300%だ。これが刻印されれば、根をおろして体質になるので、結局はだれも止めることができない絶対の答えがくる。</p>	<p>預言者 100 人かくまったということ。隠されたレムナントのやぐらだ。あのバヌアツのようなどころからレムナントがどんな恵みを受けなければならないのか教えてあげなければならない。どのようにすれば良いのか。</p> <p>□序論</p> <p>1. みことばは必ず成就するので、その流れにしたがって行くことを 7 やぐらと言う。</p> <p>2. 祈りの答えの流れがあるが、これにしたがって行くことが 7 旅程になったりもする。</p> <p>3. 伝道してもしなくても、伝道の流れがある。これが 7 道しるべだ。</p> <p>□本論_時刻表の流れが見えて、その流れに乗れば 300%が作られる。</p> <p>1. 残りの者 (I 列 18:1-15) (100 人) -100 人が残りの者だ。単に終わることではない。</p> <p>2. 残る者 (I 列 18:16-46) (霊的戦い)-カルメル山で霊的戦いに勝った者が残る者となる。レムナントの時刻表だ。</p> <p>3. 残れる者 (I 列 19:1-21) (7000) -ホレブ山だ。7 千弟子が残れる者だ。</p> <p>4. 残す者 (II 列 6:8-24) (ドタンの町) -そのまま終わるのではなくて残す者として立つことになり、世界を生かすドタンの町になるのだ。</p> <p>□結論</p> <p>1. 残りの者ということは、福音を持っている福音を伝える者だ。</p> <p>2. 残る者はこの福音の力を持つ者だ。</p> <p>3. 福音で文化征服する人が残れる者。</p> <p>4. 残す者は福音を持って次世代を育てる者だ。</p> <p>△オバデヤが育てた人物が残りの者、残る者として、残れる者として、残す者として行くのだ。今起こっていることはすべて祝福として利用すべきだ。</p>	<p>バヌアツと皆さんの教会に神様が備えておかれたドタンの町運動が起こらなければならない。(II 列 6:8-24) このドタンの町運動は伝道と宣教のやぐらだ。これが作られなければならない。ドタンの町の中にいる人々はエリシャとその弟子だった。</p> <p>□序論_福音を持っている人ができること</p> <p>1. 祈りの順序を分かる者 (II 列 2:9-11) (priority) エリシャは祈りの中ですべてのことをした。問題にぶつかったとき祈ると、祈りの中で問題を見るのは完全に違う。それゆえ、エリシャがほかのものは必要なくて 2 倍の霊をくださいと言ったのだ。これが重要な順序だ。どちらが先かだ。皆さんが祈って世の中で仕事ができることができるならば、世の中を征服する。ドタンの町はそのような弟子を育てる所だ。バヌアツと 14 の島に福音運動、祈り運動が起こらなければならない。</p> <p>2. やぐら、旅程、道しるべができたのだ (ドタンの町)</p> <p>3. このときから霊的サミットになる。アラムがどこに来るのかすべて分かった。</p> <p>4. 24、25、永遠 (300%) が出てくる。</p> <p>5. エリシャとドタンの町の中にいた人々は、世界を生かす伝道特攻隊だった。</p> <p>□本論_ 5 人 1 組 (重職者、伝道者、弟子、レムナント) のワンネス→アラムに勝った。</p> <p>1. オバデヤ (重職者)</p> <p>2. 100 人預言者 (RT) -神様が特に保護</p> <p>3. エリヤ (この答えを持っている指導者)</p> <p>4. エリシャ (この答えを継続する弟子)</p> <p>5. ツアレファテのやもめ、シュネムの女 (隠れた献身者)</p> <p>□結論_ 7000 弟子を残したという意味</p> <p>1. 237 か国を生かすこと</p> <p>2. 5000 種族を生かすこと</p> <p>3. TCK、CGK、NCK を生かしなさい。</p> <p>4. 道-バヌアツのために祈る理由</p> <p>5. 門-神様が働かれるしかない。天の軍勢をドタンの町に派遣されるのだ。神様だけしかできないということだ。私たちの計算と力では世界福音化はできない。しかし、神様が働かれれば、世界福音化は最も簡単なのだ。</p> <p>△神様は世界福音化するために 7000 弟子を残された。私たちのファン宣教師夫婦もこの (序論) 祝福を見つけ出してドタンの町運動を起こしなさい。正しく祈る人、福音を分かるならば、簡単なことだ。祈りの中で働きをするのと、それなしですることは完全に違う。神様のことを見ることはできない。それゆえ、ドタンの町運動に集まった人々がものすごい霊的力を持って世界を変えたのだ。</p>
	<p>△散らされた弟子たち/7・7・7 のモデル 53 散らされた弟子たちのやぐら (使 19:8-10)</p> <p>私たちが必ずすべきこと</p> <p>□序論_一つの国、一つの地域、ひとつりで良い。</p> <p>□本論_ 7 Point 神様が必ず隠しておいて、すべてを持って行かれることが 7 Point だ。</p> <p>1. 使 14:14-20 神様はリステラにテモテを</p> <p>2. 使 16:15 ピリピにリディアを</p> <p>3. 使 17:6 テサロニケにヤソンを</p> <p>4. 使 18:4 コリントにプリスカ夫婦を</p> <p>5. 使 19:1-21 (別に弟子) エペソには別に弟子を準備されたのだ。</p> <p>7 Point を見て動くとき、再生産、再創造、再挑戦は続いて起こる。このとき、御座に着いておられ、天と地のすべての権威を持っておられる主がいつもともにおられ、すべての病人だ者に手をおけば癒やされ、聖霊の満たしと力が与えられて地の果てまで証人になる答えを見るようになる。準備だけすれば良い。</p>	

<p>△区域メッセージ第 8 週 神様を離れた者の姿(創 3:8-24)</p>	<p>△聖日 1 部 世界を生かすやぐらの始まり(出 3:1-18)</p>	<p>△聖日 2 部/神殿建築献身礼拝 神殿献堂から始めたダビデ(1 歴 29:10-14)</p>
<p>□序論 英雄、王たち、知恵者も神様を離れた人は成功した例がない。 1. 戦争をした。 2. 故郷 神様の民ではないので神様の御元に行くことはできない。故郷が違う。 3. 16,000 回ほど戦争が起こった。同時に戦いになった。(第 1, 2 次世界大戦) 4. まことの安息 成功すればするほど不安でまことの安息がない。 5. 無駄骨 幸せを見つけるために努力したが、それがみな無駄骨となる。何かを作って仕えて、お祓い、捧むほど問題が来る。一度したところ、七つの悪霊が入ってきた。</p> <p>□本論 なぜ私たちは福音で幸せで、なぜ福音を伝えなければならないのか。神様を離れた人はこのような状態で存在するしかない。それゆえ、私たちは考えれば考えるほど、感謝するのだ。感謝を回復するとき、答えがくる。私が受けた祝福、感謝を分らないということは、違うことがぎっしり埋まっているということだ。(やぐら)</p> <p>1. 罪意識 それゆえ、いつも罪意識の中で生きるしかない。 2. 原因 X なぜそのような問題がきて、不安なのか原因が分からない。今、サタンに誘惑されて神様の契約を破ったのがどれくらい恐ろしいことなのか、神様のみことば信じず、悪霊につかれた者、サタンのことばを聞いて占うことがどれくらい恐ろしいことなのか、わからないということだ。 3. のろい それゆえ、続けてのろいが来るようになる。蛇も、エバ、土地ものろわれた。人間が解決できる方法はない。</p> <p>「創 3:15」 それゆえ、神様がすぐに解決策を与えてくださったのだ。女の子孫が蛇の頭を打つ。 恵み- 24、25、永遠 神様が私たちの救いを恵みでくださった。神様は今も 24、25、永遠をしておられる。福音を持った方々が苦しみや病気の中にいるのか。それが最も祝福の時間、最も恵みの時間になるだろう。 聖霊の満たしを約束された。(300%)過去、今日、未来、私の専門性、現場性、システムすべてみな神様がくださったことだ。 3 集中の力と幸せ、これがとても良いのだ。 3 セッティング するとじっとしているのにプラットフォームができる。神様を本当に信じるなら未来の心配より神様がくださったこと、神様がしなさいと言われたことすべきだ。世界を生かす祝福を受けようとするなら、このようにすべきだ。 3 答え そうすれば行く前に答えからくる。すでに皆さんには世界福音化の祝福が来ている。 7・7・7 福音を完成されたキリストがやぐら、旅程、道しるべを説明された。この祈りだけを続けてすれば良い。</p>	<p>□序論 1. 祈りの答えを受けるために捨てるべき誤解 1) 答えがないこと(王宮)-神様の隠れた準備 2) 苦しみ(メディアン)-神様が最も大きな恵みをくださったこと 3) 機会、挑戦、努力-正確な答えではない。それゆえ、契約成就にならない。 2. 神様の時刻表(危機、問題、苦しみ、さまよい)-契約だけ持っていれば重要な時刻表が与えられる。 1) イスラエルの男の子が皆死ぬことになった危機-モーセを王宮に送ったヨケベデ 2) 「血のいけにえを献げに行くと言え。力ある手であなたとともにいる」-契約からくださった神様 3) フアオが聞かないので、10 の奇跡でエジプトを倒された神様-契約成就。</p> <p>□本論_受ける答え 1. 過越祭の体験-サタンから解放させなさい。 1) 終わった。解放されなければならない。 2) ロマ 8:2 サタンから出てきなさい。 3) 心配をみな捨てなさい。葛藤、苦しみは重要なことを与えようとする時刻表だ。 2. 五旬節の力体験-はやく行って世界福音化しなさい。あなたは閉じ込められているべき人ではない。 1) 強大国-戦争 2) 弱小国-奴隷 3) イスラエル-サタンに仕える 3. 仮庵祭-御座の背景を持って行きなさい。 1) 過越祭-救い 2) 五旬節-聖霊の満たしの日 3) 仮庵祭-御座の背景 4. 幕屋-教会を回復しなさい。 1) 契約の箱 (1) アロンの芽が出た杖-神様のみことばを聞くとき、いのちが出てくる (2) マナを入れた壺-マナを降らせて飢え死にしないようにされた。 (3) 石に刻まれた神様のみことば-永遠になくならない。 2) 至聖所-契約の箱を置いたところ、御使いが仕える 3) 聖所-私たちが生かす器具が備えられている。 5. これを次世代に刻印させなさい。 1) 創世記-すべての問題の発生と解答 2) 出エジプト記-暗闇から解放されなければならない。 3) レビ記-礼拝成功 4) 民数記-偵察人と部族が形成されたとき、カナンに入国させた。 5) 申命記-この契約を子どもに刻印、根、体質になるようにさせなさい。</p> <p>□結論 1. わたしはある、主の御名を持って行きなさい-信仰の中で契約的な勇気を持ちなさい。 2. 残っているのはカナンの地に行くこと-キリストを送って世界福音化を始める 3. 祈りの答えを受けるために握ること 1) 危機、問題、苦しみ、さまよい-神様の契約の中にある時刻表を見なさい。 2) ついてくる 5 つの答えを次世代に伝えなさい。 3) 絶対計画の中にある契約の中で勇気を出しなさい。 △レムナント 1 人が契約を握って行く所は一時代を生かす。</p>	<p>ダビデは神殿を作ることをみな準備しておいて次世代に渡したのだ。ダビデはこれが「一生の祈り」であった。</p> <p>□序論_どのように 1. 出エジプト時代-祈る人々がいた。奇跡が起こった。 2. ダビデの祈り(すべての民が立ち上がった。奇跡が起こるしかない) 3. 次世代に伝達したのだ。</p> <p>□本論_どんな祈りをすれば良いのか 1. 少年時代-「レムナントもリレー祈り」を始めなさい。 1) 詩 78:70-72(王になるミッションをこのときに握ったダビデ)-神殿建築を置いて未来が見えるほど契約を握りなさい。祈りの中で勉強しなければならない。 2) 1 サム 16:1-13(契約の箱-神殿)を置いて続けて祈った。 3) 1 サム 17:1-47(主の御名で立ち向かった)-自分たちの神によって呪ったとき 「寂しさ-私の時間」に変えなさい。 2. 青年の時代-「大、青」 1) すべての苦しみを神様の祝福に(詩 23:6) 2) 逃げ回って現場を見た-1 千やぐらを建てる本質 3) 死の峠にあったとき より一層神殿準備を考えたダビデ 「苦しみ-答え」 △皆さんの職業 1 千やぐらと神殿準備がつながらなければならない。 3. 王の時代-すべての契約を「成就」 1) 1 千やぐら-あちらこちらに祈り場を作った。 2) アブサロムの難 3) 神殿準備 「1 千弟子」を立てなさい。 △幼いときに契約を握るとこのようになる。</p> <p>□結論_私の中に「霊的神殿」を先に作りなさい。そして、「人生神殿」を作りなさい。その後で「礼拝神殿」を作ったのだ。 なぜイスラエル神殿が崩れたのか。なぜ神殿が偶像化、観光化、経済化されているのか。福音運動の証拠がなければ偶像神殿になる。 1. 三つの庭が証拠資料としてある教会 2. 金土日-イエス様が苦しめられて、十字架で処刑されて、復活された。それゆえ、サタンが金土日を狙うのだ。 3. 黙想時代を開く神殿準備 △福音神殿を作らなければならない。全体がリレー祈りを始めなければならない。</p>